

秘密の教えと影響

桓武天皇による遷都の狙いは、南都（平城京）の仏教勢力抑制にあった。僧玄昉・道鏡、特に道鏡は国費を寺院造営に大量投入して、仏教界の腐敗を招いた。それゆえ桓武は仏教界改革のために、南都の仏教に代わる新たな仏教の登場を期待した。やがて期待に応じて2大仏教が登場し、仏教界に新たな風を吹かせた。

○ 2大仏教の対比

● 2大仏教の2つの特徴

<特徴1>

(1) _____をおこない、現世利益を求める。

→(1) は一部の限られた弟子のみに伝えられた。

⇒このような、教えを外部に隠す宗派を(2) _____と総称する。

◇(1) …印を結んで呪文を唱え、仏の加護を祈る呪術

◇(2) に対して、南都六宗は誰でも教えを經典から学習可能

⇒教えを公開する宗派を顕教けんきょうと総称

<特徴2>

神聖視されている山を修行の場とする。

◇日本古来の山岳信仰が影響を受け、平安時代末期には修験道が成立

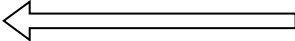
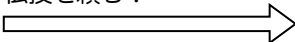


図1 印（九字）

● 2大仏教と2人の僧

804 年、僧(3) _____・(4) _____が唐に派遣され、それぞれに異なる仏教を学んだ。

⇒彼ら2人の手によって、日本で2大仏教が開かれた。

人物	 最澄（伝教大師） 唐での密教修得が不十分… 伝授を頼む！  だが断る！  空海（弘法大師）	
開いた仏教	(5) _____（中心經典：法華經）	(6) _____
密教	弟子の ⁽⁷⁾ _____・ ⁽⁸⁾ _____が 密教を本格的に導入（ ⁽⁹⁾ _____）	空海自身が導入（ ⁽¹⁰⁾ _____） ◇(10) …教王護国寺（東寺）に由来
寺	ひえいざん⁽¹¹⁾ _____が拠点 ↓ 分裂 延暦寺（山門派）^{円仁派の僧}・園城寺（寺門派）^{円珍派の僧}	こうやざん⁽¹²⁾ _____が拠点 平安京の⁽¹³⁾ _____が布教の場 ◇(13) …嵯峨天皇に賜った東寺を改称^{とうじ}
論文	『 ^{けんかいろん} 顕戒論』	『 ^{さんこうしいき} 三教指帰』
論文の主張	受戒について、南都六宗を批判	儒教・仏教・道教のなかで仏教が優位

◇空海が最澄にあてた手紙3通は『(14) _____』に集成

◇天台宗は、後に延暦寺を拠点とする円仁の寺門派、園城寺を拠点とする円珍の寺門派に分裂

◇円仁…唐に滞在中『入唐求法巡礼行記』にっとうくほうじゅんれいこうきという日本最古の旅行記を筆録

○弘仁・貞観文化—密教美術

●像の4大特徴

<木材の利用>

平安時代には、粘土と同等以上に安価な「木材」を造像に利用した。

⇒造像の技法は、1本の木材から像を彫る⁽¹⁵⁾ _____ が主流であった。

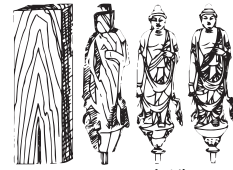


図2 一木造

<密教に関わる仏像>

密教に関わる如意輪観音・不動明王などの仏像が多数造られた。

<神像の登場>

自然から転じた日本の神は本来目に見えず、像が造られなかった。

⇒神仏習合が進んだ影響で神像^{しんぞう}が造られ、僧の姿をした像もあった。

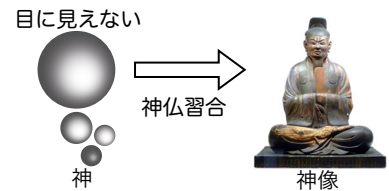


図3 神像の登場

<大小に波打つ衣>

衣文^{えもん}は、大きな波と小さな波が交互にうねる⁽¹⁶⁾ _____ で表現された。



図4 翻波式

●代表的な像

<仏像>

元興寺薬師如来像
観心寺⁽¹⁷⁾ _____



図5 如意輪観音像



図6 僧形八幡神像



図7 元興寺薬師如来像

<神像>

薬師寺僧形八幡神像(右図確認)
薬師寺神功皇后^{じんぐう}

●絵画の題材

仏教の教えや世界観を視覚的に表現した⁽¹⁸⁾ _____ が描かれた。

⇒特に密教では2つの(18)を用いた両界曼荼羅^{まんだら}で世界観を表現した。

●代表的な絵画

教王護国寺両界曼荼羅^{きやうおうごこくじ}

園城寺不動明王像(黄不動)



図8 両界曼荼羅



図9 不動明王像

●山岳寺院

山の地形に応じた自由な伽藍配置がなされた。

⇒⁽¹⁹⁾ _____ 金堂が代表である。



図10 室生寺金堂